

# 「全国財務局管内経済情勢報告概要」の主なポイント (令和2年10月判断)

財務省

令和2年10月28日


# 地域経済の概況（令和2年10月判断）

## 1. 各地域の経済情勢

- 各財務局管内の経済情勢を示す「総括判断」は、全11地域で「上方修正」。
  - － 前回（令和2年7月）と比較すると、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、「持ち直し」や「緩やかな持ち直し」の動きがみられる。
- 各財務局の個別項目の判断
  - － 「個人消費」は、9地域（東北、関東、北陸、東海、近畿、中国、四国、九州、福岡）で「上方修正」。
  - － 「生産活動」は、全11地域で「上方修正」。
  - － 「雇用情勢」は、全11地域で「据え置き」。

## 2. 全局総括判断

- 地域経済に関する各財務局の報告をとりまとめると、
  - － 「個人消費」は、感染症の影響がみられるものの、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、持ち直しつつある。
  - － 「生産活動」は、感染症の影響がみられるものの、自動車を中心に、持ち直しつつある。
  - － 「雇用情勢」は、雇用者数で底堅さがみられるものの、感染症の影響により、引き続き弱い動きとなっている。
- これらを踏まえ、「全局総括判断」は、「厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる」へ上方修正した。

|            | 前回（令和2年7月判断）   | 今回（令和2年10月判断）                                       | 基調比較  |
|------------|--|---|---|
| 全局<br>総括判断 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まり、一部で持ち直しの動きがみられる</u> | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる</u> | <br>(上方修正) |

(注1) 令和2年10月判断は、前回7月判断以降、10月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断。

(注2) 下線部が基調判断。

# 各地域の「総括判断」の比較

|     | 令和2年7月判断   |  | 令和2年10月判断  |  |
|-----|--|--|--|--|
| 全局  | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まり、一部で持ち直しの動きがみられる</u>     |  | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる</u>        |  |
| 北海道 | 新型コロナウイルス感染症の影響により <u>極めて厳しい状況にあるものの、経済活動の再開に伴い、一部に下げ止まりの動きがみられる</u> |  | 新型コロナウイルス感染症の影響により <u>厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる</u>      |  |
| 東北  | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる</u>             |  | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある</u>        |  |
| 関東  | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる</u>             |  | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる</u>        |  |
| 北陸  | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況が続いているものの、一部では下げ止まりの動きがみられる</u>          |  | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況が続いているものの、一部では緩やかに持ち直しつつある</u> |  |
| 東海  | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、足下では持ち直しの動きがみられる</u>              |  | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>一部に厳しい状況が残るものの、持ち直している</u>          |  |
| 近畿  | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>極めて厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる</u>          |  | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる</u>        |  |
| 中国  | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる</u>             |  | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる</u>        |  |
| 四国  | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる</u>             |  | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる</u>        |  |
| 九州  | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる</u>             |  | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある</u>        |  |
| 福岡  | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる</u>             |  | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、緩やかな持ち直しの動きがみられる</u>    |  |
| 沖縄  | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>極めて厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる</u>          |  | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、緩やかな持ち直しの動きがみられる</u>    |  |

(注1) 下線部が基調判断。 (注2) 矢印は、前回との基調比較。

# 「個別項目」の特徴的な動向

## 1. 個人消費 ※9地域（東北、関東、北陸、東海、近畿、中国、四国、九州、福岡）で「上方修正」

- 「スーパー販売」は、一時期の増勢は緩やかになっているものの、巣ごもり需要の継続により、飲食料品を中心に堅調。
- 「百貨店販売」は、イベントなどの外出機会の減少でブランド衣料品が低迷しているものの、全体としては持ち直しの動きがみられる。
- 「コンビニエンスストア販売」は、低迷していた行楽地周辺の店舗の客足が足下で戻ってくるなど、緩やかに持ち直している。
- 「ドラッグストア販売」は、感染予防対策の衛生用品や飲食料品を中心に引き続き好調。
- 「家電販売」は、一時期の増勢は緩やかになっているものの、テレビや調理家電などの巣ごもり需要もあり、引き続き堅調。
- 「新車販売」は、経済活動の再開に伴って来客数が徐々に回復しており、持ち直しつつある。
- 財務局のヒアリングによると、宿泊や旅行代理店、飲食等のサービス業では、Go Toキャンペーン等により、足下では持ち直しの動きがみられる。

## 2. 生産活動 ※全11地域で「上方修正」

- 「自動車」は、国内外の需要回復に伴い、在庫の積み増しがみられるなど、持ち直している。
- 「生産用機械」は、半導体製造装置が引き続き堅調であるほか、工作機械の一部で下げ止まりの兆しがみられる。
- 「電子部品・デバイス」は、車載向けで持ち直しの動きがみられる。
- なお、「生産活動」は全11地域で上方修正を行ったものの、「自動車」関連のウェイトが高い地域では「持ち直し」の動きがみられる一方、同産業のウェイトが低い地域では「下げ止まり」や「一進一退の状況」に留まるなど、産業構造の違いによって改善度合いにも地域差がみられる。

## 3. 雇用情勢 ※全11地域で「据え置き」

- 雇用者数は、底堅く推移している。ただし、有効求人倍率は、分子である有効求人数で下げ止まりの動きがみられるものの、経済活動の再開に伴い、分母である有効求職者数が増加していることから、低下している。
- 財務局のヒアリングによれば、雇用調整助成金を活用して雇用維持に努める企業が多くみられる一方、今後の業況によっては、雇用調整を進める企業が増加する可能性もあるなど、先行きには十分注意する必要。

# 各地域の「個別項目」の比較

## 個人消費

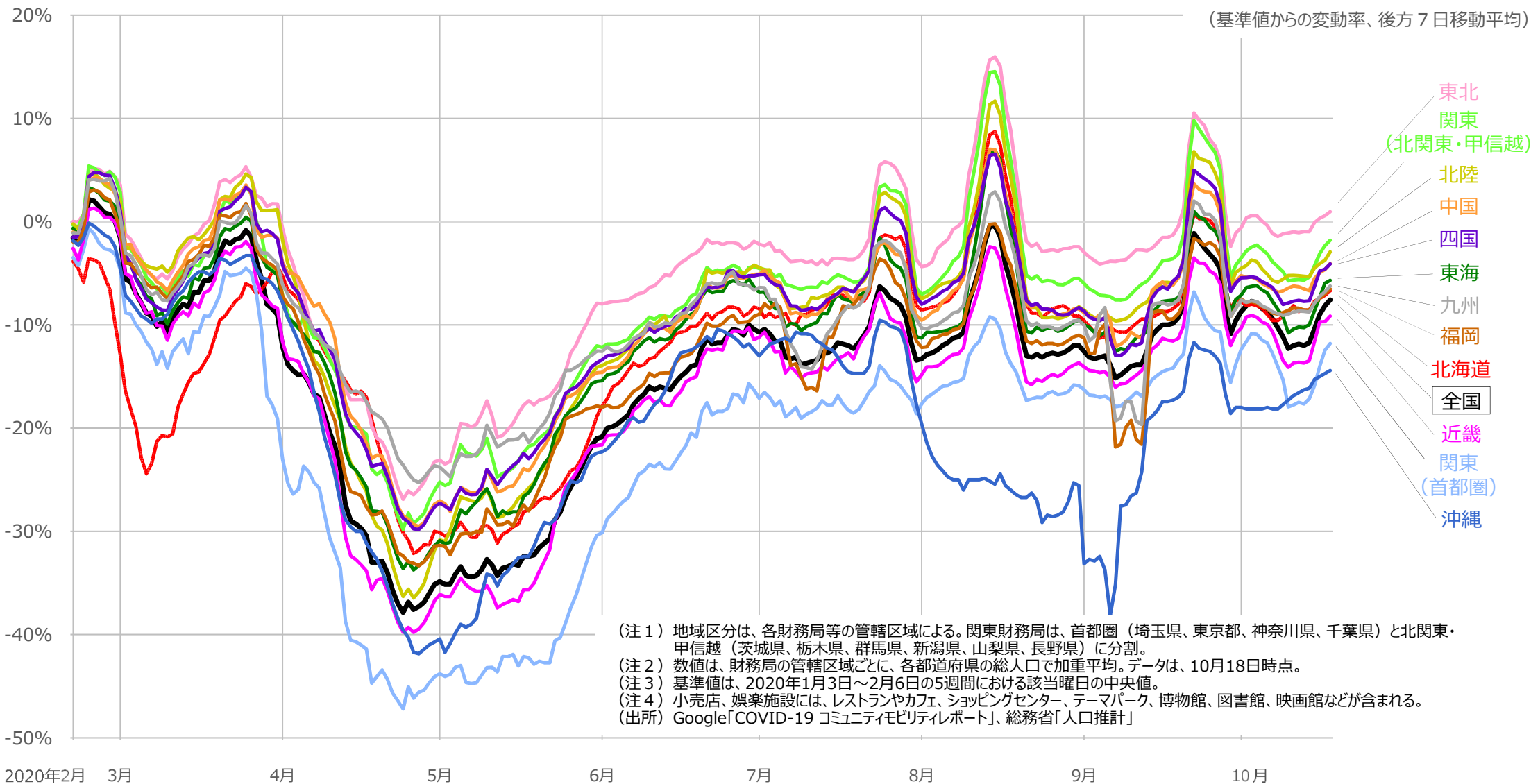
## 生産活動 ※沖縄は「観光」

## 雇用情勢

|     | 個人消費  |  |   | 生産活動 ※沖縄は「観光」                                       |  |   | 雇用情勢                          |                               |   |
|-----|---|--|---|---|--|---|-------------------------------|-------------------------------|---|
|     | 前回<br>(令和2年7月判断)                                      | 今回<br>(令和2年10月判断)                              |   | 前回<br>(令和2年7月判断)                                    | 今回<br>(令和2年10月判断)                        |   | 前回<br>(令和2年7月判断)              | 今回<br>(令和2年10月判断)             |   |
| 北海道 | 新型コロナウイルス感染症の影響により一部に弱さがみられるものの、足下では持ち直しの動きがみられる      | 新型コロナウイルス感染症の影響により一部に弱さがみられるものの、持ち直しの動きがみられる   | ➡ | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている                       | 一進一退の状況にある                               | ↗ | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている | ➡ |
| 東北  | 新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では緩やかに持ち直しつつある              | 新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している            | ↗ | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる                           | 新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では緩やかに持ち直しつつある | ↗ | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている | ➡ |
| 関東  | 新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、足下では緩やかに持ち直しつつある               | 新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある               | ↗ | 一部に下げ止まりの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、減少している       | 新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある     | ↗ | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている | ➡ |
| 北陸  | 新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いてきたが、足下では持ち直しの兆しがみられる      | 新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いているものの、緩やかに持ち直しつつある | ↗ | 弱まっている  | 下げ止まっている                                 | ↗ | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている | ➡ |
| 東海  | 感染症の影響が残るものの、持ち直しの動きがみられる                             | 感染症の影響が残るものの、持ち直している                           | ↗ | 厳しい状況にあるものの、足下では持ち直しの動きがみられる                        | 着実に持ち直している                               | ↗ | 感染症の影響により、幅広い業種で求人への減少が続いている  | 感染症の影響により、弱い動きが続いている          | ➡ |
| 近畿  | 新型コロナウイルス感染症の影響による厳しさが残るものの、足下では下げ止まりの動きがみられる         | 持ち直しつつある                                       | ↗ | 一部に下げ止まりの兆しがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、減少している       | 緩やかに持ち直しつつある                             | ↗ | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている | ➡ |
| 中国  | 新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、足下では持ち直しの動きがみられる                | 新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している            | ↗ | 新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では一部に下げ止まりの動きがみられる        | 新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる     | ↗ | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる     | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる     | ➡ |
| 四国  | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいるものの、足下では緩やかに持ち直しつつある         | 感染症の影響が残るものの、緩やかに持ち直している                       | ↗ | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる                           | 下げ止まりの動きがみられる                            | ↗ | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている | 感染症の影響により、弱い動きとなっている          | ➡ |
| 九州  | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きが続いているものの、足下では緩やかな持ち直しの動きがみられる | 新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある               | ↗ | 一部に下げ止まりの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きが続いている   | 新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある     | ↗ | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている | ➡ |
| 福岡  | 新型コロナウイルス感染症の影響による厳しさが残るものの、足下では一部に持ち直しの動きがみられる       | 新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある           | ↗ | 新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では一部に下げ止まりの動きがみられる | 新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、一部に持ち直しの動きがみられる  | ↗ | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている | 新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている | ➡ |
| 沖縄  | 感染症の影響により、弱含んでいるものの、足下では持ち直しの動きがみられる                  | 感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる                    | ➡ | 感染症の影響により、悪化しているものの、足下では下げ止まりの動きがみられる               | 感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかな持ち直しの動きがみられる   | ↗ | 感染症の影響により、弱い動きとなっている          | 感染症の影響により、弱い動きとなっている          | ➡ |

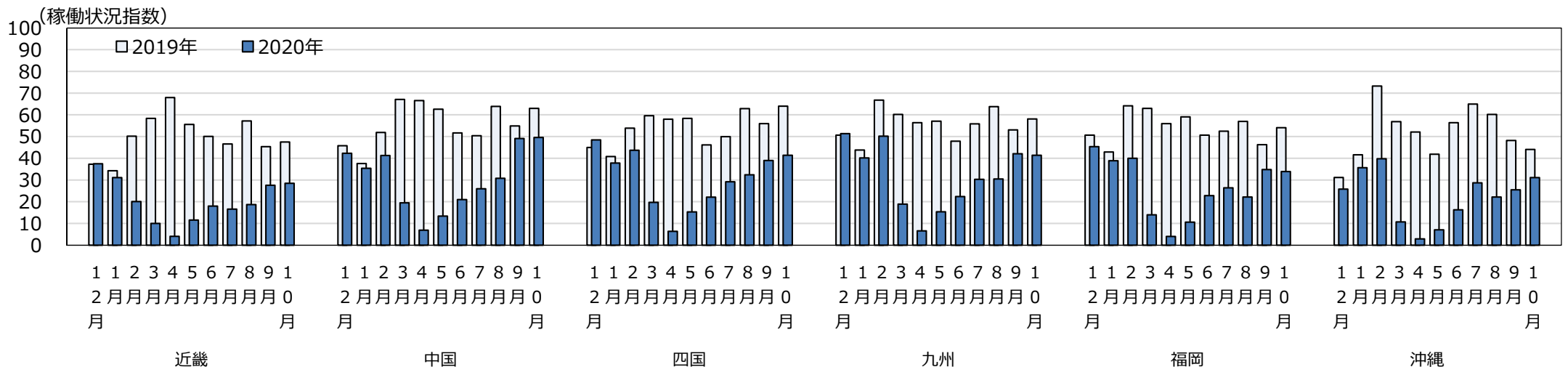
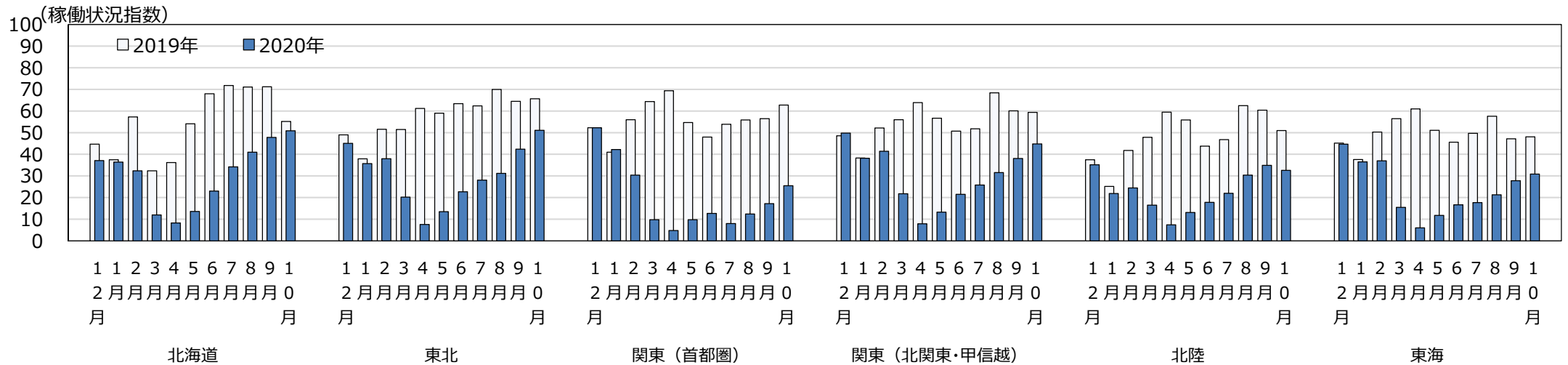
## <参考> 小売店・娯楽施設へのヒトの動き（オルタナティブ・データの活用①）

- 前回7月判断以降のヒトの動き（小売店・娯楽施設）をみると、お盆休みや9月の大型連休では、感染拡大前の水準を上回る地域がみられるなど、緩やかではあるがヒトの動きが戻りつつある。
- ただし、地域別でみると、首都圏などの大都市圏では、全期間を通じて低水準で推移しているほか、九州・福岡・沖縄では、8・9月の感染者数の増加やクラスターの発生により、他地域に比べて一時的な落ち込みがみられる。



## <参考> 宿泊施設の稼働状況（オルタナティブ・データの活用②）

- 感染症の影響により、全地域において、4月の稼働状況が最も低い水準となった。
- 5月の緊急事態宣言の解除から10月の足下まで、水準自体は前年度を下回っているものの、持ち直しの動きがみられる。
- ただし、首都圏などの大都市圏では、他地域に比べて回復のペースが遅れているなど、地域差がみられる。



(注1) 地域区分は、各財務局等の管轄区域による。関東財務局は、首都圏（埼玉県、東京都、神奈川県、千葉県）と北関東・甲信越（茨城県、栃木県、群馬県、新潟県、山梨県、長野県）に分割。

(注2) 日次の宿泊施設稼働率（原数値）を7日間周期のデータとみなして曜日要因を除いたうえで、月ごとに単純平均したもの。10月は、15日までの数値。

(注3) 休業施設は除く。そのため、空室が2020年4月中に20日以上かつ2020年5月中に20日以上提供されている施設のみを対象とし、過去に遡って指数を算出。

(注4) 日次（原数値）は、 $100 - ((\text{当日の空室数} - \text{当日を含む過去365日の最小空室数}) / (\text{当日を含む過去365日の最大空室数} - \text{当日を含む過去365日の最小空室数})) * 100$ で算出。

(出所) 公益財団法人九州経済調査協会「DATASALAD」

# 企業等の主な声

## 個人消費

- 感染症の落ち着きから外食等も増加しているのか、一時期と比べて買いだめ傾向は和らいでいる。ただし、在宅勤務が浸透したことによる巣ごもり需要の継続から飲食料品を中心に売上は堅調に推移している。【スーパー・大・近畿】
- 10月の催事などでは客数が戻ってきている。ただし、外出機会の減少や節約志向により、衣料品は厳しくなっており、商品の供給側の減産も進んでいる。衣料品の売場を今後も維持するかどうかは、大きな検討課題である。【百貨店・九州】
- オフィス街や観光地を中心に来店客数が減少していたが、足下では、Go Toトラベル事業の実施を契機として、観光地周辺の店舗は来店客数が持ち直している。【コンビニ・大・中国】
- 9月以降は特別定額給付金の効果も一段落したが、在宅時間の増加に伴い、ホットプレート等の調理家電が引き続き好調。最近では冬の感染拡大を見越して、高額な空気清浄機が売れている。【家電量販店・大・近畿】
- Go Toキャンペーンや県独自のプレミアム宿泊券の効果で売上高は回復傾向。ただし、個人客中心の単価の高い施設は前年比増だが、ビジネスホテルは前年比70%減となるなど、恩恵を受ける施設と受けない施設での格差が大きい。【宿泊・団体・中国】
- 最近では感染が落ち着いてきたこともあり、淡路島や有馬などの近場の旅行を中心にGo Toキャンペーンを活用した予約が増えており、店頭が明らかに忙しくなっている。【旅行代理店・大・近畿】

## 生産活動

- 感染症の影響で生産調整を行っていたが、6月以降、通常操業を再開。足下ではこれまでの減産分を回復すべく、フル操業で生産している。【自動車・大・関東】
- 一部の取引先で投資の先延ばしが生じているものの、5 G関連の需要増などを背景に、受注は好調に推移しており、高い生産水準を維持している。【生産用機械・大・九州】
- 金属加工機械において、取引先の設備投資意欲が回復するまでには至っていない。ただし、前四半期より悪化はしておらず、横ばいの状況が続いている。【生産用機械・大・北陸】
- 国内外の自動車工場も稼働するようになり、自動車向け電子部品の生産が堅調である。【電子部品/デバイス・大・東北】

## 雇用情勢

- 主力の自動車向け製品の生産量増加により人手不足感が出てきたため、期間工の募集を行っている。【金属製品・中堅・東海】
- 雇用調整助成金でなんとか雇用を守っており、現行の特例措置が年末まで延長されて一安心である。ただし、今後も業況が戻らない場合は「従業員の整理に踏み切らざるを得ないかも」と漏らす宿泊施設もある。【宿泊・団体・北陸】



## 各地域の「総括判断」①

|     | 前回<br>(令和2年7月判断)   | 今回<br>(令和2年10月判断)  | 基調<br>比較  | 総括判断の要点   |
|-----|--|--|---|---|
| 北海道 | 新型コロナウイルス感染症の影響により <u>極めて厳しい状況にあるものの、経済活動の再開に伴い、一部に下げ止まりの動きがみられる</u> | 新型コロナウイルス感染症の影響により <u>厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる</u>      |    | 個人消費は、スーパー販売で「巣ごもり消費」から、主力の食料品が堅調に推移しており、持ち直しの動きがみられる。生産活動は、一進一退の状況にある。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。観光は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる。  |
| 東北  | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる</u>             | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある</u>        |    | 個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、電子部品・デバイスが自動車向けなどで堅調となっているほか、輸送機械が持ち直しているなど、足下では緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。   |
| 関東  | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる</u>             | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる</u>        |    | 個人消費は、感染症の影響がみられるものの、スーパー販売額、ドラッグストア販売額が前年を上回っているほか、百貨店販売額、コンビニエンスストア販売額に持ち直しの動きがみられるなど、持ち直しつつある。生産活動は、感染症の影響がみられるものの、輸送機械、化学、電気機械が増加しているなど、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっている。  |
| 北陸  | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況が続いているものの、一部では下げ止まりの動きがみられる</u>          | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況が続いているものの、一部では緩やかに持ち直しつつある</u> |  | 個人消費は、ドラッグストア販売やホームセンター販売が好調となっており、家電大型専門店販売は持ち直している。また、百貨店・スーパー販売が緩やかに持ち直しつつあるなど、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いているものの、緩やかに持ち直しつつある。生産活動は、電子部品・デバイスが持ち直しており、化学が拡大しているほか、生産用機械が下げ止まりつつあることなどから、全体では下げ止まっている。雇用情勢は、有効求人倍率が低下していることなどから、弱い動きとなっている。 |
| 東海  | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、足下では持ち直しの動きがみられる</u>              | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>一部に厳しい状況が残るものの、持ち直している</u>          |  | 社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、個人消費は感染症の影響が残るものの持ち直しており、生産活動は輸送機械を中心に着実に持ち直している。こうしたなか、雇用情勢は弱い動きとなっている。  |

## 各地域の「総括判断」②

|    | 前回<br>(令和2年7月判断)  | 今回<br>(令和2年10月判断)                                       | 基調<br>比較  | 総括判断の要点  |
|----|---|---|---|--|
| 近畿 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>極めて厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる</u> | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる</u>     |    | 個人消費は、スーパーや家電等の販売が堅調となっているなど持ち直しつつある。生産活動は、生産用機械や電気・情報通信機械等が上昇しているなど緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、有効求人倍率が引き続き低下しているなど弱い動きとなっている。  |
| 中国 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる</u>    | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる</u>     |    | 個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、ドラッグストア販売やホームセンター販売が好調であるなど、緩やかに持ち直している。生産活動は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、輸送機械が増加しているなど、持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる。                                  |
| 四国 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる</u>    | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる</u>     |    | 個人消費は、スーパーが堅調であるほか、各種政策の効果もあり、家電販売や観光等に持ち直しの動きなどがみられることから、全体としては感染症の影響が残るものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、輸送機械が弱い動きとなっているものの、電気機械や汎用・生産用機械で緩やかに持ち直しつつあることから、全体としては下げ止まりの動きがみられる。雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっている。 |
| 九州 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる</u>    | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある</u>     |   | 個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、百貨店・スーパー販売が持ち直しつつあり、ホームセンター販売や家電大型専門店販売は前年を上回っているなど、持ち直しつつある。生産活動は、感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、有効求人倍率が低下しているなど、感染症の影響により、弱い動きとなっている。                         |
| 福岡 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる</u>    | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、緩やかな持ち直しの動きがみられる</u> |  | 個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、百貨店・スーパー販売額及びコンビニエンスストア販売額の減少幅が縮小しているなど、緩やかに持ち直しつつある。生産活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により、自動車の生産台数が前年を下回っているものの、輸出向けを中心に回復しているなど、一部に持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は、弱い動きとなっている。             |
| 沖縄 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>極めて厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる</u> | 新型コロナウイルス感染症の影響により、 <u>厳しい状況にあるものの、緩やかな持ち直しの動きがみられる</u> |  | 個人消費は、百貨店・スーパーやコンビニエンスストアの販売額が減少するなど、感染症の影響がみられるものの、食料品が引き続き堅調に推移するなど、持ち直しの動きがみられる。観光は、入域観光客数が大幅に減少するなど、感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかな持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は、有効求人倍率が低下するなど、感染症の影響により、弱い動きとなっている。         |

# 各地域の「先行き」

今回（2年10月）

|     |  |
|-----|--|
| 北海道 | 先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染症が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。                |
| 東北  | 先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、持ち直しに向けた動きが続くことが期待される。ただし、感染症が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。             |
| 関東  | 先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染症が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。                |
| 北陸  | 先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待される。ただし、感染症が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。           |
| 東海  | 先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、引き続き持ち直していくことが期待される。ただし、感染症が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。               |
| 近畿  | 先行きについては、新型コロナウイルス感染症の影響が続くなかで、各種政策の効果等もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。                     |
| 中国  | 先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染症が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。                |
| 四国  | 先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染症が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。                |
| 九州  | 先行きについては、新型コロナウイルス感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染症の動向など、管内経済を下押しするリスクに留意する必要がある。 |
| 福岡  | 先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、新型コロナウイルス感染症が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。       |
| 沖縄  | 先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染症が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。                |

問い合わせ先

財務省大臣官房総合政策課

東京都千代田区霞が関3丁目1番1号

Tel. 03-3581-4111 (内線) 2252, 2225

財務省ホームページ <https://www.mof.go.jp/>